

かゆみの基礎、診断・治療の現状をふまえた

1名分料金で
2人目無料

臨床現場が求める新薬像と治療薬開発のポイント

- ◆日時: 2019年3月5日(火)10:45~15:40
 - ◆会場: 滋慶医療科学大学院大学 9F 視聴覚大講義室
 - ◆聴講料: 1名につき49,980円(税込、昼食・資料付)
- ※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
- ・1名でお申込みされた場合、1名につき**47,250円**
 - ・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,980円)**
- ※学生のご参加は、1名につき受講料10,800円です。
(ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【第1部】難治性掻痒症治療薬の研究開発

10:45~13:00

(株)カン研究所 研究員 石井 直人 氏

痒みは身近な感覚であるにも関わらず、その発生機序などが明らかになってきたのはごく最近のことであり、それ故に痒みに対する治療薬も十分に備っていないのが現状である。痒みの基礎研究に関する最近の知見を紹介しつつ、そのメカニズムに触れ、痒みを抑制するためのアプローチを紹介したい。本セミナーでは痒み治療薬に関する最新の臨床開発動向を紹介し、PDE4阻害剤の痒み抑制作用を見出しアトピー性皮膚炎治療薬に応用した演者の経験を踏まえて、動物モデルを用いた痒みの評価方法についても言及したい。

1. はじめに

2. 痒みの基礎

- 2-1 かゆみとは?
- 2-2 かゆみの神経生理学
- 2-3 かゆみのメディエータ
- 2-4 かゆみ治療の現状(国内及び海外)

3. 新しい痒み治療の可能性

- 3-1 痒み治療のための新規アプローチ
 - 3-2 痒み治療薬の開発動向
- ##### 4. 痒み治療薬の開発に際して
- 4-1 痒みの動物評価モデル
 - 4-2 痒みモデルを用いた薬物評価事例

【第2部】かゆみの基礎、治療の現状をふまえた臨床現場が求める新薬像

13:40~15:40

近畿大学 皮膚科 主任教授 川田 暁 氏

皮膚科領域において痒みに対する治療の重要度はきわめて高い。特に蕁麻疹、アトピー性皮膚炎、湿疹・皮膚炎群、皮膚瘙癢症などでは、多くの場合内服薬による治療が行われる。本講演では、皮膚疾患における痒みの基礎、痒みに対する治療の現状、皮膚科医が求めている新薬像について述べたい。

1. 痒みを伴う皮膚疾患とその病態

- A. 蕁麻疹
 - ・蕁麻疹の病態
 - ・蕁麻疹のガイドライン
 - ・蕁麻疹治療のトピックス
- B. アトピー性皮膚炎
 - ・アトピー性皮膚炎の病態
 - ・アトピー性皮膚炎のガイドライン
 - ・アトピー性皮膚炎治療のトピックス
- C. 湿疹・皮膚炎群
 - ・湿疹・皮膚炎群の病態
 - ・湿疹・皮膚炎群の治療
- D. 皮膚そう痒症
 - ・皮膚そう痒症の病態
 - ・皮膚そう痒症の治療

2. 薬剤の選択における皮膚科医師の考え方

- ・抗ヒスタミン薬と抗アレルギー剤
- ・薬理作用の違い
- ・インバースアゴニズム
- ・副作用
- ・インペアドパフォーマンス

3. 皮膚科医師が求める薬剤とは

- ・薬理作用
- ・効果
- ・使用方法
- ・副作用
- ・外国との違い
- ・外用薬への期待
- ・保険審査での問題点

【質疑応答・名刺交換】

『かゆみ【大阪開催】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>